

全国スポーツ祭典「高野山」と熊野古道

2012.10.6-8

集 合：相鉄線海老名駅改札口7時15分

1日目・・宿坊（櫻池院）宿泊、夕食後別棟で大交流会

2日目・・弁天岳→女人堂→金剛峯寺等を歩きバスにて和歌山県・川湯温泉へ

3日目・・熊野本宮大社～熊野古道・伊勢路～海老名駅21時半帰着

レポート odaira

バスが苦手でもまでは遠方は参加しなかったが、キャンセルされた方があり、また今回はバス座席がゆったりできるということとで急遽参加させてもらいました。



海老名駅まで車で送ってもらい、7時前に着くとすでに幹事の高橋さんが待っていました。





バスがスタートして海老名ICに入ります。今年開通する予定の圏央道が見えます 開通すると大変便利になります 開通前にこの道が解放されたらぜひともウォーキングしたいと思います～



バスの席は比較的ゆったりです



裾野ICの手前で新東名に入りました



PAで休憩



バスの長旅には皆さん慣れていますが リラックスしています



本日の第一番目の訪問先 慈尊院にようやく到着です

孫が喜びそうなソフトクリームを食べてご満悦



大阪の環状線に7入るところで一般道に出て高野山に向かいます どのような経路をたどるのだろうか興味深々新谷さんとコース予想で楽しみました。



慈尊院門前にて

由緒ありそうなお寺でしたので、御朱印をもらいました 関根さんもお朱印集めているのだそうです いっぱい集

めると極楽へ行けるのだそうです。



急な階段もなんのその 日頃鍛えた脚力で



小辺路のスタート地点は高野山ではなくこの慈尊院という。ここが高野山の表参道、町石道の町石を一町(約109m)毎に祈りながら、矢立を経て六町石の高野山「大門」に登るのが正式。ここは女人高野とも呼ばれています。後でわかったことですが超人平石一さんがここから歩いて高野山に登ってきたという。





わがクラブの善男善女がおまいりしました



奥には神社も同居しています





次は世界遺産 丹生官省符神社（にうかんしょうぶじんじや）にお参り



太鼓橋にて



ようやく高野山町に到着

男性は報恩院に宿泊 夕食は精進料理 品数は結構豊富





大広間にて夕食 ご飯はおかわりできる 精進料理なかなか工夫されており、食欲をそそりました



東京の青嶋さんと和歌山ウォークの上野さん
今回の全国交流の役員です



夕食を終えると女性の泊まる宿坊 櫻池院に移動ここ

で全国交流の前夜祭が開催されました



甲冑で身を固めた出立の主催者側からのご挨拶



歓迎のおどり フラダンス “月の夜は” 猛練習したそうです 和歌山ウォーキングクラブの方々

いいでしょう このスタイル 決まっています



何がおかしのか マイクさん声高らかに



わがクラブは末席で固まって 回ってくる各地の銘酒を飲み比べ 桑名さん蒔蓄を披露



我がクラブ部屋での見直し?



各クラブの紹介に拍手



和歌山ウォーキングクラブの紹介風景



散会後も部屋に乗り込んでまだ雑談
永井全国会長に大阪WCの名物男も参入



10月7日
全国交流ウォークです 全員大門前に集合して
..... 最後に200名余の全員写真



伊東の竹平さんも



ここは男性が宿泊した報恩院 玄関 翌朝は朝の勤行に参加
しばらくぶりにお経を聞き、法話もきかせてもらった
ご焼香もいたしました



高野山的大门 大きい建造物です

ここで我がクラブだけでストレッチ



高橋文さん リーダ



各クラブごと背の高さ順に整列させられました



高野山町の町長の挨拶もいただき、町からも後援されての一大イベントでした



いよいよAコースの登り口に



行列になつて登り始めました





登りが延々と続きます ずっと汗がでています 息があがりました



やっと頂にたどりつきました



我がクラブの女性軍は強い



弁天岳の山頂に到着です



ここで弁天様にお参りして後は下るのみ



こんなに登ったかな～



車道にでるとそこは女人堂 女人禁制の時代は女性
はここまでしか入れなかったとされている



山から下りて 高野山の本尊 金剛峰寺へ



御朱印をお願いして、寺の中を見学 前回高野山に来た時は金剛峰寺は拝観したように思っていたが初めて見学したことによりやく気づきました。



境内は広く またところどころには石庭が



大伽藍 前夜ライトアップされたのを見られた方も居ました 大変見応えがあったとか



弘法大師・空海が曼荼羅の思想に基づいて創建した密教伽藍の総称であり、高野山の二大聖地の一つである（ほかの一つは奥の院）。金堂は高野山全体の総本堂で高野山での主な宗教行事が執り行なわれる。ほかに大塔、御影堂、不動堂などが境内に立ち並び、不動堂は世界遺産に登録されている（引用）



突然 平石一さんが登場 びっくり どうやって来たのか聞いてさらにびっくり 歩いてきたという



金堂



根本大塔の前で 副会長さん



大塔の前で集合写真



一町石 高野山の登り口からここ一町石を目指して登ってきます

午後からは奥ノ院めぐりです。

神谷さんと森山さんがお参りしたい碑があるということで、皆さんと別れて一緒について奥ノ院に先発事務所で聞くもなかなかわからない。神谷さんが携帯で問い合わせして、腰掛石のそばという これがまた難物で三人で右往左往いたしました。ようやく探し出せたので安堵

ここでようやく仲間と合流



武田信玄の墓 すぐ近くには上杉謙信の墓 ライバルの墓を意識的に近接させているようである



奥ノ院のメイン通路



お二人の目当ての博文館の碑の前で



ガイドさんに説明を聞きながら 歩きます





二代将軍秀忠の正妻 おごうの墓 奥ノ院で一番高い墓という

この写真は違いますが 隣には千姫の墓がありました



交流ウォークの終点 大変御苦労様でした
次回の富士五湖に引き継ぎの握手



名もない人の五輪塔が地中からこのように沢山出土したという 無縁墓標



高野山に別れを告げて つぎは今夜の宿川湯温泉に向かいます



川湯名物川辺りの温泉しかも混浴とのこと
部屋から眼下に露天風呂がよく見えました
女性は専用の浴衣を着ています 男性はタオル一枚





10月8日 3日目はまず熊野大社に向かいます 途中熊野川が段々と大河になっていきます 今年の紀伊半島を襲った豪雨による山肌の傷痕ところどころに





熊野大社全景



3日目のウォークはKWCのみでの熊野古道ウォーク
です 伊勢路 馬越峠道にいきます ここは尾鷲神社

右の写真は熊野古道 馬越峠道スタート地点



路は登り坂 旅行気分を切り替えて



コスモスの花に見送られて







途中の展望台にて



Vサインで峠に着きました



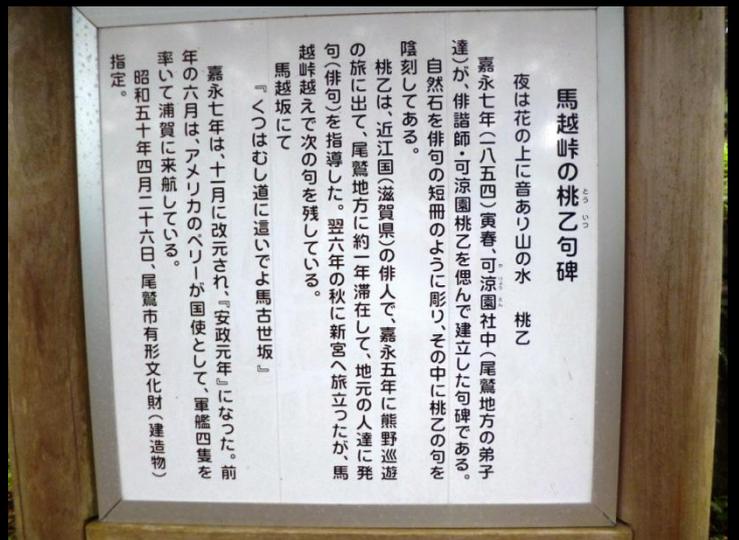
私はダブルVよ



大したことなかつたね



峠から尾鷲の町を見る



馬越峠の桃乙句碑

夜は花の上に音あり山の水 桃乙

嘉永七年(八五四)寅春、可涼園社中(尾鷲地方の弟子達)が、俳諧師・可涼園桃乙を偲んで建立した句碑である。自然石を俳句の短冊のように彫りその中に桃乙の句を陰刻してある。

桃乙は、近江国(滋賀県)の俳人で、嘉永五年に熊野巡遊の旅に出て、尾鷲地方に約一年滞在して、地元の人達に俳句(俳句)を指導した。翌六年の秋に新宮へ旅立つたが、馬越峠越えて次の句を残している。

馬越坂にて
『くつはむし道に這いでよ馬古世坂』

嘉永七年は、十月に改元され、『安政元年』になった。前年の六月は、アメリカのヘリが国使として、軍艦四隻を率いて浦賀に来航している。
昭和五十年四月二十六日、尾鷲市有形文化財(建造物)指定。



馬越峠からは便石山、天狗倉山などに登れます



ここで昼ごはんです さんまの竜田揚げ弁当でした



下りは石畳みの道 滑らないので軽快に下りられます途中 東海テレビのインタビューを受けることに



当時は石一つ持ってくると一升の米が貰えるとのこと



石畳みの道で集合写真 人物は小さめ、古道に抱かれています感じができていますでしょうか



全然疲れない 古道を歩いてうれしいよとの弁



石畳みの道 東海道の石畳み道と全然違い 足に優しく歩き易い道という意見大半でした







最後に登場はバージンロードを歩くような格好で手をつないで



東海テレビのインタビュー長かったね
東海地区には放映されるとのこと
後日 見れるかも

写真の配列が必ずしも時系列になっていないことご了承ください
(機械的に配列したため)

下山後 道の駅で最後の土産を買いこみ、2時半 一路バスで海老名に向かいます。途中皆さんの感想や、綾小路きみまろのビデオ鑑賞、肝心のおちが後部座席では聞き取れず笑いも中途半端 御殿場あたりから新谷さん 森山さんと海老名到着時刻予想で大盛り上がり、森山さんが(根拠もなく?)9時15分と大胆予想 新谷さんと私が10時すぎと予想。当然10時すぎになる筈のものが運転手さんの大胆で我々地元人間でも全く予想しなかった経路で9時15分ほぼ誤差範囲で到着 森山さんが勝った勝ったと大はしゃぎ、我々は完敗。今後森山さんに会うたび言われそうで少し憂鬱です。それにしても運転手さん小田厚道路からよく渋滞に巻き込まれず海老名ICに出る道よく知っていました。そんなわけで、皆さんその後の帰路にも困らない時間帯で無事海老名駅に到着できました。